

平成28年 第7回大田市教育委員会定例会

日 時 平成28年7月28日（木）午後3時30分

場 所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 前回の会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題 なし

5. その他

○報告

- ・ 第1回大田市内県立高等学校支援連携協議会及び分科会について （総務課）
- ・ 第1回及び第2回山村留学検討委員会について （山村留学センター）
- ・ 大田市学校会計等取扱要綱の制定について （総務課）
- ・ 大田市温泉津伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について（石見银山課）
- ・ スポーツ推進計画ブロック別意見交換会について （文化・スポーツ推進室）
- ・ どくしょノート「えほん だいすき よんで よんで」の配布について（学校教育室）

6. 閉 会

平成28年第7回大田市教育委員会定例会会議録

平成28年7月28日午後3時30分、大田市教育委員会事務局において、第7回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成28年7月28日 午後3時30分

閉 会 平成28年7月28日 午後4時40分

2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川崎総務課長 橘学校教育室長 川島社会教育課長

渡邊学校給食センター長 後藤人権推進課長

大門石見银山課建造物係長 木村総務管理係長

6. 開 会

大國教育長開会を告げ開会

(1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。

委 員 (なし)

教 育 長 特に無いようですので、前回の会議録についてはこのとおり承認をいただいたものとします。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 先月の定例教育委員会は16日に開催しました。同日は、学校訪問へ行っていただきありがとうございました。17日に6月議会の最終日ということで終わっております。19日、社会教育課の文化・スポーツ推進室ですけれども、古代の大田市ということで関和彦さんの講演会を市民センター4階で開催し、会場がいっぱいになるほど非常に盛況でございました。20日は山村留学の検討委員会で、その後も2回行っておりますけれども、これについても報告事項に入っておりますので、後で田中部長の方からご報告申し上げたいと思います。21日に大田市内県立高校の魅力化協議会を開催しました。内容については、これも後で説明します。23日に県の退職校長・園長会があすてらすでありました。島根県内の退職された校長先生、園長先生の集まる代議員制の会合ということで来賓で招かれて行ってきたところです。25日に「ここまでわかった石見銀山」を市民会館の中ホールで開催されております。27日に石見銀山課の伝建の審議会を開催しております。28日に学校警察連携協議会に出席しております。学校や少年補導委員さんから、やはりスマートフォンのゲーム系のところが課題だという話が出ておりました。29日に石見銀山の10周年の記念展、これは仲野委員さんは資料館の立場でお出かけになっておりますけれども、来年の7月から9月まで石見銀山の10周年の記念展が出雲の古代歴史博物館と石見銀山資料館で行われます。一番大きなものとしては、今年銀山関連のものを国外から借りてきて展示をします。石見銀山資料館では江戸時代の技術を中心に据えて展示をするということで準備が進んでおります。7月1日は世界遺産登録記念給食ですが、教育委員さん含めて4校に分かれて給食と授業参観に行きました。2日は石見銀

山文化賞授賞式がありました。これは中村ブレイスさん主催ですけれども、今年は関東石見銀山会ということで、民間の賞ですけれども、関東で世界遺産登録を機に関東在住の大森出身者を中心とした任意の団体ということで受賞されました。今50人近く人数がいらっしゃるということでした。同日、これも仲野委員さんには資料館の立場でご出席いただきましたけれども、10周年のプレイベントを市民会館の大ホールで行いました。参加人数は500人くらいでしょうか、かなり賑やかでしたし、ご覧になった方もあるかと思いますが、県内すべてのケーブルテレビをネットワークして生中継されたということと、後で再放送もありましたのでかなり話題になったのではないかと思います。翌日3日はオペラ石見銀山の初顔合わせがあすてらすでありましたので、私、田中部長、社会教育課長など出掛けたところです。いよいよ、顔ぶれもおおむね決まって来年の7月2日に向けて、これは民間の実行委員会ですけれども、市と教育委員会は共催団体ということになっておりまして、一年後の7月2日にオペラをやるということでスタートしたところであります。7月7日、8日全史協中国地区協議会が山口市でありました。遠藤課長が市長代理で出席いたしました。9日のPTA連合会の研修大会が開催されました。同日夜は、森山良子コンサートがありました。11日には県と県の教育委員会に重点要望に行っております。これも後で詳しくお話しします。12日は島根県立大学の主に浜田キャンパスの支援協議会として、石見地区の自治体と高校が関わって支援をしていく協議会です。以前、県立大学に新しい地域政策部をつくって欲しいという要望を協議会で出していますが、県立大学の浜田キャンパスとしては新しい学部を作ることは困難だという結論であるということでした。15日に地域おこし隊の辞令交付式、同日三瓶自然館の25周年式典に出席しました。今年度は、市内の新一年生に夏の特別展の無料招待券を配るという話がありました。20日は県の中学総体のバレーボール大会が総合体育館と一中の体育館で開催され、大田西中の女子が県大会で優勝しました。石見地区の中学校が優勝したのは65年ぶりだということです。同日、8月に大田市から帰国するALTのアヌとレイナとの意見交換をしました。21日に県市町村教育委員会連合会がありましたので、教育委員の皆さんもお出かけいただきました。22日は宗岡家の活用検討委員会と山村留学検討委員会がありました。23日に邇摩高校の

サマーフェアがありましたので参加してきました。24日、市の学童水泳大会が開催されました。200数十人の参加で大会規模が小さくなったような気がします。昨年度からプールが無くなった五十猛小学校は参加しなくなったということでした。同日県の中学総体の剣道が邑智郡の中体連の開催で行われました。25日に県内の都市教育長会がありました。八市の教育長が集まって、意見交換をしました。同日、高校の魅力化協議会の大田高校分科会を開催しました。26日は社会教育委員の会議があつて、埋蔵文化財の発掘現場を見に行っていました。また、クロスカントリーの実行委員会を開催、今年は8月21日の開催です。同日、高校の魅力化協議会の邇摩高校分科会を開催しております。昨日、石見銀山遺跡整備検討委員会を開催し大久保間歩の公開範囲を広げるということ、世界遺産センターの展示をリニューアルするということを検討いただきました。今日、給食の調理と配送の委託業者の選定委員会を開催しております。そして、定例教育委員会を開催しております。9日の市PTA連合会の研修大会があり、来賓で挨拶をしましたが、ちょうどその後、インターネットやスマートフォンに関するPTA連合会宣言を決定され、参考までに次の頁に載せております。それから、11日に県へ重点要望に行つて来ましたが、その要望項目の一覧の資料をつけております。1番から17番までありますが、5番の世界遺産の10周年、17番の高校の魅力化推進ということで、要望の文章を次の資料につけております。経過報告については以上です。何か質問がございますか。

委員 (なし)

教育長 以上で経過報告を終わります。

(3) その他

教育長 それでは、本日議題はございませんので報告に入ります。まず、1点目、第1回大田市内県立高等学校支援連携協議会及び分科会について、総務課よりお願いします。

川崎課長 それでは、第1回大田市内県立高等学校支援連携協議会及び分科会について、私の方からご説明いたします。お手元に、議事録をお配りしておりますので、これに沿って報告したいと思います。まず、日時ですが、6月21日の火曜日、15時30分から17時まで支援連携協議会・分科会合同会議として開催しております。出席委員

はご覧のとおりです。会議内容でございますが、市長のあいさつに引き続き、島根県教育魅力化特命官で、本支援連携協議会のアドバイザーをお願いしております岩本悠氏に、島根県における高校の魅力化について、現状やその必要性について隠岐の島前高校を例に説明いただきました。定数割れから学級減、それに続く教員の削減による履修科目の制限など、大田高校・邇摩高校にも共通する危機感などをお聞きすることができました。引き続き議事に入りまして、委員長に梶委員を、副委員長に中島委員を選任し、協議事項に入りました。まず、両校の現状について恩田校長、三島校長から説明をいただき、その後、両校への思いや地域と県立高校の関わりについて、委員長、副委員長を含め、各委員からご意見をいただいたところです。次に、両校長より、高校が望んでいる支援策をお聞きしております。スクールバスの運行などの交通面でのサポート、キャリア教育やふるさと教育面での地域と高校のつながりなどがありました。最後に、岩本アドバイザーから未来を見据えた話を加えたビジョンをもち、そのうえで今手を打たなければならないことの協議が重要とのアドバイスをいただきました。以上が支援連携協議会の概要であります。次に、分科会の開催状況についてご報告いたします。まず、大田高校の分科会ですが、第1回目として、今週月曜日の25日、午後1時30分から3時30分まで開催をしております。また、邇摩高校の分科会につきましては、翌火曜日の26日、午後1時30分から3時30分まで開催しております。いずれも内容については、現在整理中として、改めてご報告させていただきたいと思いません。支援連携協議会及び分科会につきましては以上でございます。

教 育 長 協議中の事柄については、閉会後に情報提供したいと思いません。何かご質問はありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 では、続きまして、第1回及び第2回山村留学検討委員会について田中部長の方からお願いします。

田中部長 本日は、山村留学センター長が所用で欠席のため私の方から報告させていただきます。資料にございますように、大田市山村留学検討委員会の設置をしました。検討委員会設置の目的、検討事項はそこに掲げてある通りでございます。メンバーにつきましては、「3)組織」の表に掲げる9名の皆さまで、幅広く地元の方、さらには委員長は元・島根県教育長の藤原義光さんで、又さらには島根県教育

魅力化特命官の岩本悠さんも含めて、社会教育課のグループリーダーをやっておられる江角さん、そういった県行政の方も入れながら視点を広く持った島根県の教育の魅力化も整合させるような視野の中から山村留学センターというものを捉え、少し大きくその在り方を検討していくという趣旨でございます。資料裏面を見ていただきます第1回目は6月20日におこなったところです。先ほど申し上げましたとおり、藤原義光さんに委員長、副委員長に地元の三瓶暁さんを選出いたしました。第1回目でございますので、様々にこれまでの経過とか、こういった事が課題なのかそういったことを話をするとともに、岩本さんより、隠岐島前高校の島留学について報告をしていただき、島留学と山村留学の違いみたいなどころからのご意見も頂いたところです。その日は閉会后、子ご美のさともみんなで行きました。さらに、7月28日に第2回の検討委員会を開催いたしました。全員の出席のもと、内容としては、地域おこし協力隊を4名を配置したこと、県立高等学校の支援連携協議会を発足し議論を開始したということ、そうしたことも教育の魅力化という中で同時に進んでいるということの中で、検討内容に入りました。検討の中では、小学校、中学校、あるいは高等学校も含めて、山村留学との関わり、あるいは今後の戦略、こういった事について話し合っていました。その他、県の教育施策の連携もしていく、地元との協力体制が必須であるけど、様々な課題も出てきている、こういうような話し合いをし、少しずつでも観点・視点が現れてきたように思います。以上です。

福間委員 高校生を入れた場合に、校区外とかは解決できるものですか。

田中部長 山村留学に高校生を入れるとすれば、受験の段階で県外市外であるということは、大田高校であれば制約があります。邇摩高校は制約はありませんが、4、5年後には学級数の減も想定される危機感の中で、県外の学生を公募していくという一つの方途も探していきたい、重点要望でも挙げていますが、制約を変えていくという気持ちも持ちながら、今県とのやりとりをしようとしていると現時点ではご理解いただきたいと思います。

教育長 住所用件は10パーセントを乗り越えても、身元引受人がいなくていけないという現実的な課題はあります。

福間委員 山村留学では、里親が身元引受人になるという形になれば、可能かもしれませんね。

教 育 長 その他何かありますか。

委 員 (なし)

教 育 長 そうしますと、大田市学校会計等取扱要綱の制定について、総務課よりお願いします。

川崎課長 大田市教育委員会訓令第2号、大田市学校会計等取扱要綱につきましてご説明いたします。学校事務グループから、市内の小中学校で取り扱っている各会計の統一基準を示す要綱の制定についての要望があり、島根県並びに他市の事例を参考として原案を作成し、市の法令係とも協議をしたうえで、定めたものでございます。第1条の趣旨から委任まで20条からなる要綱となっております。第1条で定めております趣旨ですが、大田市立の小中学校で管理する学校会計の適正な取扱いに関し、必要な事項を定めるとしておりまして、学校が取り扱う様々な会計の透明性を高め、不適切な処理などを防止するために要綱を定めるものです。以下、要点についてご説明いたします。第2条で学校会計の定義を定めております。この要綱が対象とする会計は、学校集金会計と団体会計に大別しております。学校集金会計は、個々の児童生徒が直接的に受益する経費としておりまして、個人用の教材を購入・支出する会計を指します。団体会計は、学校教育と密接な関係を有する団体の会計で、校長が相当と認めその処理を受任したものとしております。第3条で学校会計の取扱いについて定めておりますが、ここでは、通帳の管理者と届出印の管理者を明確に分けることとしております。第5条では保護者負担の軽減について定めております。これは、購入等の契約にあたり複数の見積もりを徴して低廉なコストで契約するなど、保護者の負担する経費の軽減に努めることを義務付けるものであります。第7条で学校集金の種類を定めております。ご覧おきいただきたいと思います。それから、第11条の経理状況の確認であります。少なくとも年2回以上、各会計の点検をし、出納簿の余白に確認印を押印することとしております。次に第12条第2項で、保護者から選任した2人の者に監査をいただくこととしております。第13条、第14条では児童会・生徒会会計及び部費の特例について定めております。少し飛びまして、第17条で団体会計の受任について定めております。学校集金会計と同様な取扱いをすることとしておりまして、想定される会計としてはPTA会計、教育後援会の会計などが考えられると思います。概要につきましては以上でございますが、

施行期日につきましては本年7月22日の施行でございますが、本年度の会計処理から適用することとしております。説明は以上でございます。

教育長 3月の中体連会計の問題では、通帳と印鑑の管理を別にしていなかったということで、様々な学校会計についてきちんと取り扱うために制定するものですのでご了解ください。そうしますと、次の大田市温泉津伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について、石見银山課からお願いします。

大門係長 それでは、大田市温泉津伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について、具体的に申し上げますと、保存計画の中で温泉津の場合、戦前に建てられた建物で保存が可能なものを特定して管理していくということにしています。今回はその特定物件を新たに追加するものです。資料に概要を載せておりますが、建築物保存計画番号133となる建物です。建物は民家の主屋で所在地は温泉津口の94番地です。場所は温泉津の伝建地区の東側、海寄りに近いところで、本町から沖浦に至る入り組んだ路地を構成する建物として、また港側からの景観においても重要です。建築年代は大正7年ではほぼ間違いないと分かっています。改めて、この度所有者方から保存の意思の確認ができましたことから、保存計画における特定物件とすることとしました。なお、6月27日の伝統的建造物群保存地区保存審議会においても了承いただいております。特定の範囲につきましては、図面の方にお示ししておりますが、赤線で囲まれた主屋の範囲です。以上です。

教育長 赤線で囲まれてないところは、大正7年より新しいという理解でよろしいですか。

大門係長 はい。大正7年より新しいものでした。今後所有者の利活用の面からも特定をして保存をしていくのが難しいというのもありまして、今回は主屋の部分だけということになりました。

教育長 赤い枠の中はこのまま保存して、そうでないところは、住むために改造をするということでしたかね。

大門係長 そうです。

教育長 質問等はございませんか。

委員 (なし)

教育長 そうしますと、次のスポーツ推進計画ブロック別意見交換会について、文化・スポーツ推進室からお願いします。

川島課長 文化・スポーツ推進室より、第2期スポーツ推進計画策定のためのブロック別意見交換会についてご報告いたします。お配りしています資料をご覧ください。日程につきましては、6月14日火曜日から22日水曜日まで土日を挟んで、7日間連続で行いました。参加人数は、7回の合計で87人でございます。7回の意見交換会とも、資料につきましては、大田市スポーツ推進計画（後期計画）のダイジェスト版、過去5年間のスポーツ関係予算・決算資料等を用いて状況を説明しております。また、市長の施政方針で掲げております、「健康まちづくり」についても基本的な考え方等を説明した後、意見交換を行いました。意見交換のテーマは大きく4点、「大人の健康づくり」「子どもの体力向上」「地域のスポーツ活動や団体」「スポーツ施設について」といたしました。1番目の大人の健康づくりでは、市長の掲げる「健康まちづくり」に関連した、ウォーキング、あるいは、ノルディックウォーキング（ポールウォーキングとも呼んでおります）に関する意見をたくさんいただきました。

（1）のウォーキング、ノルディックウォーキングの普及では、大田にあるものを活かすということで、クロスカントリーコースの利用、あるいは、効能が高いと言われている琴ヶ浜など、砂浜を活用したウォーキング等の意見でございます。既に、モデルコースづくりなども行われ、また、指導者育成なども進んでいるとのことでもございました。（2）の運動に取り組む人の増加では、これまでに作成されているウォーキングマップの活用や、市内各地域で行われているウォーキングイベントなどの情報を集約し、広報を行えば、各地のウォーキングイベントに参加できるとの意見もございました。また、情報の一元化と積極的な発信などのご意見をいただいております。2番目の「子どもの体力向上」につきましては、幼少期からの取り組みの重要性が指摘され、県体協なども推奨しています、アクティブチャイルドプログラムというものでございますが、その推進や、外で安心して遊べる環境づくりが必要という意見もございました。それから、スポーツテストの一括実施につきましては、データの効果的な活かし方、などの意見をいただいております。また、なにより学校での体育の授業が重要であるとの意見をいただいております。スポーツ少年団の在り方については、低年齢時から特化した活動としないことや、基本の動きを大切にすること、また、スポーツ少年団に所属しない子どもたちへの、地域での運動機会の提供の

工夫なども意見をいただいたところがございます。3点目、地域のスポーツ活動等については、全体としては体育活動やイベントは減ってきているが、手軽にできるニュースポーツへの取り組みなどについての意見も出ております。この中では、用具をどこで借りれるのかなどの情報が分かりづらいこと、また、誰に頼めばニュースポーツ等の指導をしてもらえるのか等の情報が不足しているとのことでした。また、日常的に行える健康・スポーツという点からは、ラジオ体操を改めて見直し、多くの市民に実践してもらおうべきとの意見が複数出ております。なお、この動機付けとして、ご当地版のラジオ体操が作成できる事業があり、方言などを取り入れた大田バージョンのラジオ体操を製作してはという意見もいただきました。これは、かんぽ生命への申請により無料で作成できると聞いております。少し研究してみたいと思っています。4点目、スポーツ施設については、多い意見としては、県の中央で利便性はあるが、県レベルの大きな大会が行える施設が少ないことなどがあげられました。競技を絞ってでも、施設の整備をすべきとの意見もいただいております。また、介護予防のためのトレーニングマシンが仁摩町や温泉津町にあるが、指導者が付いていないと使えない状況があり、工夫してでも地元で使いやすい体制が作れないか等の意見が出されました。温水プールについては、総論としては必要という意見ですが、健康増進に絞れば4コース程度あればよいのではという意見や、送迎は必要ではないかとの意見が出されました。その他、次期計画では、障がい者の視点を取り入れるべき、また、スポーツ推進担当課、健康増進担当課、介護予防担当などが横の連携を取り、情報共有し、事業を進めるべきとの意見をいただいております。概要は以上でございます。別紙に資料として、主な意見を付けております。参考としていただければと思います。以上です。

教育長
川島課長

この後の計画の策定スケジュールはどうなりますか。
各競技団体等の意見交換会を行って、あるいはスポ少や各学校からの意見徴取をして、審議会の第1回目を8月末頃に予定し、その後もう2回、合計3回審議会を行う中で年度内に策定をしていきます。

教育長
委員
教育長

何かご質問はありませんか。
(なし)
それでは、続きましてどくしょノート「えほん だいすき よん

で よんで」の配布について、学校教育室からお願いします。

橘室長 学校教育室の方から、説明させていただきます。今、委員さん方へ、どくしょノート「えほん だいすき よんで よんで」の現物をお配りしています。大田市教育ビジョン基本構想に教育のとらえなおしというキーワードがありましたが、乳幼児期の子育てを小学校入学前の教育ととらえ直しをして、その充実を図る観点から、就学前の子どもたちが本の楽しさ、読書の面白さを味あわせるということで取り組むことにしております。その一環として、読んだ本あるいは保護者の方に読んでもらった本の記録をするため、このどくしょノート「えほん だいすき よんで よんで」を作成しました。現在小学校の方では読書ノートがありますが、就学前の読書ノートはなかったもので、今回作成したものです。ねらいとしては、読書、とくに絵本の読み聞かせにより、子どもに対しては「学ぶ力の基礎である言葉・知識・心・情緒・想像力等の育成を、保護者・家族に対しては「子どもとの心の交流・成長への願いの実現」等を期待しています。使い方は、絵本等を1冊読むごとに、子どもが印をつけて、色を塗ったりシールを貼ったりできるようになっています。また「わくわくページ」には、絵本を読んで感じたことを絵に描く、好きな絵をまねてみるなど自由に使えるようになっています。表紙は、空いている状態ですが、子どもさんの手形や足形を押す、写真を貼るなどして子どもの成長の記録にもなるようにしてあります。また、冊子の後半には、発達の段階に応じた「おすすめしたい子どもの絵本」のリストをつけており、絵本どくしょの普及と啓発につながる資料を掲載しています。そういった事で保護者の読書啓発も促していくという仕掛けがあります。どくしょノート1冊で、100冊の絵本等が記録できるようになっており、101冊目から大田市中心と図書館、仁摩図書館、温泉津図書館にて、2冊目がもらえるようになっています。先般、7月の幼稚園園長会、保育所長会で説明をし、各園から保護者に渡してもらっています。また、在宅や未入園の方々には乳幼児健診時や子育て支援センター等を通して随時届けていくという計画です。以上です。

梅枝委員 記入するのは保護者ですね。

橘室長 保護者さんであったり、年齢によっては、子どもが書くかもしれませんが、実情に応じて使っていただければと思います。

教育長 良い試みなので、保育園・幼稚園に行っていない子がいるとしたら、

岡山テレビの告知欄とか、何かで情報提供できるといいと思います。

橘室長 広報おおだへの掲載依頼と、新聞記者さん、岡山テレビへも情報提供したところですよ。

教育長 せっかくなので、いいノートができた時は紹介させてもらおうとかしてもいいですね。

竹下委員 これは、図書館司書さんとかの意見も入ったものですか。

橘室長 これをつくるにあたっては、図書館職員や、保育士さん、いろいろな方々の意見を混ぜながら、編集会議を経て作成しています。

竹下委員 わかりました。

教育長 それでは、予定の議題等は全て終了致しました。来月の教育委員会は8月25日です。よろしく願いいたします。

7. 閉会

教育長 以上をもちまして、第7回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。